

YKS全国勉強会

35名が参加し、例年以上に大盛況

座談会と懇親会の二部構成で



写真1 オンラインで開催したYKS全国勉強会2020

「在日同胞若手研究者の会(Young Korean Scientists；以下 YKS)」が主催する全国勉強会が2020年11月7日(土)に開催されました。

この全国勉強会は、在日同胞若手研究者たちが学術的な交流をする場として毎年催されており、今回で16回目の開催となりました。

今回は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、移動と集会が厳しく制限されている中、全国の若きサイエンティストが一つの場所に集まって皆で話し合う、という通例の内容では行えない状況となりました。

このような状況であっても、交流を行える会を設けられないかと事務局で検討し、今回の「YKS全国勉強会2020」はZoomを利用した

オンラインにて開催することにいたしました。全国の学生や研究者、技術者ら総勢35名が参加し、例年以上に大盛況となりました(写真1)。

本会は座談会と懇親会の二部構成で行いました。座談会では、宋敬錫(SONY会社員)さんと李哲揆(東京農工大学助教)さんのお二人をゲストとしてお招きしました。

企業および大学で活躍なさっているお二人から、ディスプレイ工学や微生物学などの専門分野についてわかりやすく解説していただきました(写真2)。

また、自身の経験にもとづいて、学部生・大学院生時代にどのように勉学に取り組んだの

か、在日技術者・研究者としてどのような姿勢をもたないといけないのか、後輩たちへの熱いメッセージをいただきました(写真3)。

懇親会では、専門分野および年代別に少人数のグループに分け、オンラインでも初対面でも参加者同士が共通の話題で交流しやすい雰囲気をつくりました。学生同士が仲良くなったり、先輩方からアドバイスをいただいたりと、様々なバックグラウンドをもつ在日同胞若手研究者たちが交流できた、魅力溢れる懇親会となりました。

本会の参加者から「学生時代の話や自分の中の転換点等、自分にもすごく参考になる話も聞けたので良かった」「今回みたいな経験談を元にした話をたくさん聞きたい」「さらに定

期的に開催して交流が生まれれば良いと思う」との感想をいただきました。

YKS全国勉強会には、毎回参加する常連の方々もいれば、初めて参加するの方々もいます。そのような中でも、「在日同胞若手研究者」という同じ境遇があれば、分け隔てなく話し合っていて、つながりを広げていけるのかもしれない。YKS事務局一同、このような思いを広げていきたい所存でございます。

このような貴重な場を設けるために、今年も成和記念財団の活動支援を拝受する事となりました。貴財団の御厚意により、大変有意義な会を催す事ができました。深く御礼申し上げます。

【YKS全国勉強会2020事務局】

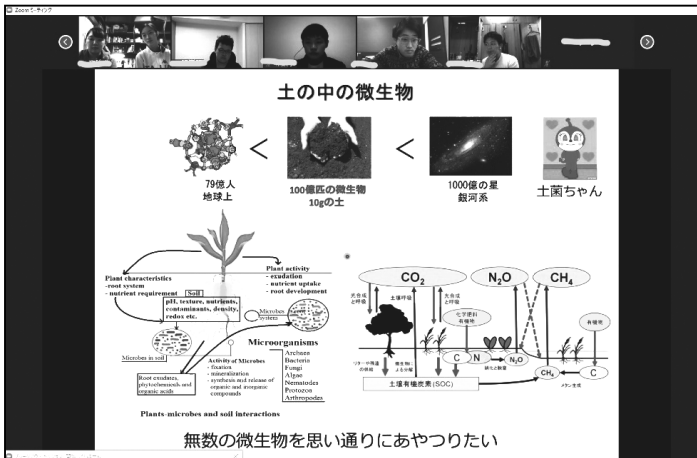


写真2
座談会ゲストの専門分野解説

写真3
座談会ゲストのメッセージ

